



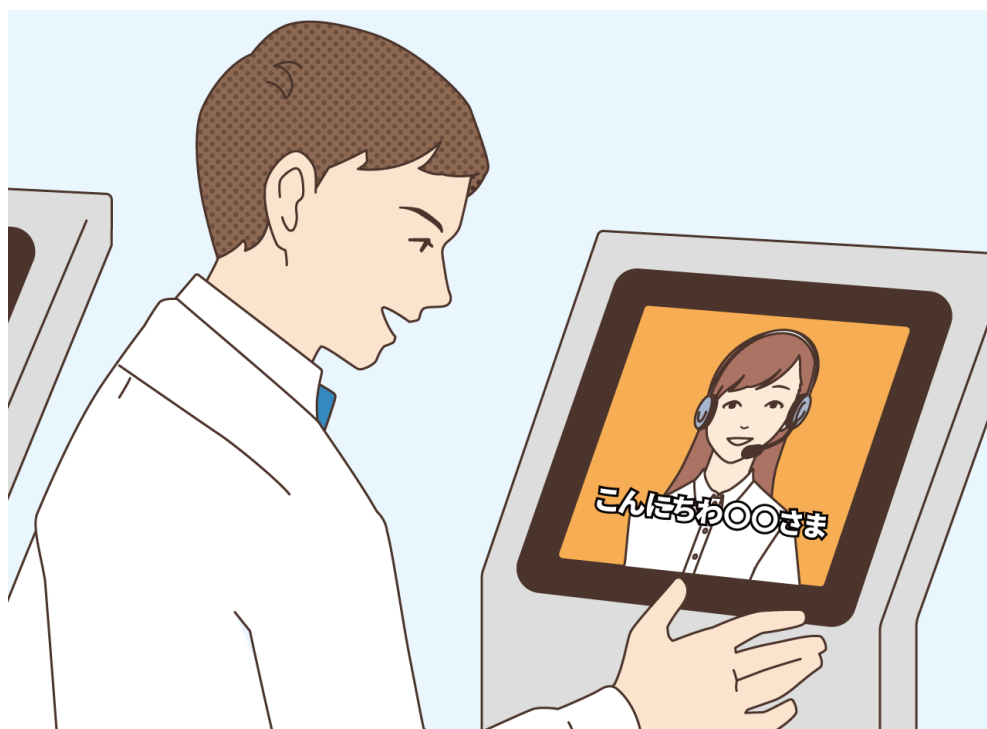
2025 年 6 月 18 日

株式会社アドバンスト・メディア

エイネットの自治体向け非対面 DX ソリューション「CROSS」に 音声認識開発キット「AmiVoice® SDK」を搭載！

～AI 音声認識による字幕表示で、誰もが使いやすい窓口対応を実現～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の、開発者向けボイステックプラットフォーム「AmiVoice Cloud Platform（アミボイス クラウド プラットフォーム）」で提供している音声認識開発キット「AmiVoice SDK（アミボイス エスディーケー）」が、エイネット株式会社（本社：東京都千代田区 以下、エイネット）の自治体向け非対面 DX ソリューション「CROSS（クロス）」に搭載されました。



「CROSS」は、自治体の支所や出張所などにおける窓口業務を、本庁やコールセンターなどの拠点から遠隔で対応可能にするシステムです。人手不足の解消や、地域によるサービス格差を是正し業務品質の均質化に貢献しています。一方で、高齢者やろう者・難聴者との会話が円滑に進まないケースや、騒音下などで音声聞き取りにくいといった課題を抱えていました。そこで、誰もが安心して利用できる窓口サービスの実現に向けて、会話を視覚的に伝える字幕表示機能の導入を検討していました。

そのような中、国内シェア No.1[※]の AI 音声認識 AmiVoice を活用した「AmiVoice SDK」が採用されました。高い認識精度に加え、オフラインでも動作可能なセキュリティの高さが大きく評価され、自治体窓口など高い信頼性が求められる業務においても安心して導入できるソリューションとして選定されました。

「AmiVoice SDK」の搭載により、オプション機能として窓口職員の発話内容を、リアルタイムで字幕化しモニターにテキスト表示することが可能になりました。さらに、字幕表示の対象は職員側の音声に限定しており、来訪者の発話内容は記録・表示されません。このため、来訪者のプライバシーを守りながら、正確な情報伝達と安心感のある窓口対応を実現します。

本機能は、高齢者や聴覚に不安のある方でも会話内容を正確に把握でき、スムーズな行政サービスの提供に貢献します。さらに、騒音下など会話が聞き取りにくい状況でも、会話内容を視覚的に確認できることで来訪者の満足度向上が期待されます。

アドバンスド・メディアでは、今後も音声認識技術を通じて、誰もが利用しやすい公共サービスの実現と、全ての人にやさしいコミュニケーションの実現に貢献してまいります。

■株式会社エイネット、コメント

当社が提供する自治体向けリモート窓口システム「CROSS」において、「AmiVoice Cloud Platform」で提供している「AmiVoice SDK」を搭載し、新機能を開発・実装できましたことを、心より嬉しく思います。

住民サービスのさらなる向上と窓口業務の効率化を目指し、複数の音声認識サービスの比較・検証を行った結果、日本語の認識精度やリアルタイム性、導入の柔軟性において非常に優れていた AmiVoice を採用する運びとなりました。今回の連携により、窓口対応中の会話をリアルタイムでテキスト化し、職員の対応記録作成業務の省力化やヒューマンエラーの削減に貢献できるものと確信しております。

今後も、「CROSS」を通じて自治体のデジタル化を支援し、地域住民の利便性と職員の働きやすさの両立を実現するサービスづくりを推進してまいります。

エイネット株式会社「CROSS」担当部長 尾上 渉

■「AmiVoice SDK」概要

「AmiVoice SDK」は、認識精度の高さからさまざまな利用シーンの音声入力・音声テキスト化に使われています。録音機能なども合わせてライブラリで提供するため、さまざまな OS のネイティブアプリの開発が容易に行えます。音声認識サーバーとの連携「AmiVoice API Private」でデバイススペックに左右されない運用も可能です。

詳細については、下記 Web サイトをご確認ください。

https://acp.amivoice.com/amivoice_sdk/

■「AmiVoice Cloud Platform」について

<https://acp.amivoice.com/>

■「CROSS」概要

自治体の支所や出張所などにおける窓口業務を、本庁やコールセンターなどの拠点から遠隔で対応可能にするシステムです。来訪者は設置された端末からワンタップでメニュー選択し、職員とリアルタイムで画面越しに対話を行うことができます。操作や表示切り替え、音量・画質の調整さらにはプリンターやスキャナーの操作も、すべて職員側から遠隔で対応可能です。さらに、自治体や企業の閉域網内でのシステム構築が可能で、オープンネットワークを経由せず、既存のセキュリティ対策をそのまま適用可能なため、個人情報を取り扱う業務でも安心して利用できます。

<https://www.freshvoice.net/cross/>

■エイネットについて

エイネット株式会社は、1997年の創立以来、ITコンサルティング、ITアウトソーシング、ビジュアルコミュニケーションの3事業を軸に、企業や自治体のDX推進を支援しています。特に、5000社以上に導入されたWeb会議システム「FreshVoice」シリーズや、自治体向けリモート窓口「CROSS」など、非対面・非接触型のソリューションに強みを持ちます。

<https://www.anets.co.jp/>

※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

以上

【会社概要】＜株式会社アドバンスト・メディア＞

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997年12月

資 本 金： 69億3,031万円（18,392,724株）（2025年3月末現在）

事 業 内 容： ◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2025」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail： press@advanced-media.co.jp ・ TEL： 03-5958-1307	SDX 事業部 ・ E-mail： ami-keyboard-pr-ml@advanced-media.co.jp